

Talekonkuranse 2026

私の日本語の学び方

みなさん初めまして、ヨニー・グエンと申します。オスロ大学の一年生です。一年生ですが、日本語を学び始めたのは約10年前になります。この10年の中で、良いものも、悪いものも、色んな学び方を見つけました。その学び方を紹介したいと思います。まず、日本語を学びたいと思ったきっかけについて話したいと思います。

率直^{そつちよく}に言うと、アニメです。幼い頃からいつも観ていました。ノルウェー語版^{ぼん}でしたが、そういうシリーズやおもちゃのおかげで、無意識^{むいしき}に日本アニメの事が好きになっていました。仮面ライダーも大好きです。小学校の時にユーチューブで仮面ライダーのまとめ動画を見つけて、それ以来ずっと夢中です。うちの部屋の棚^{たな}には色んな変身ベルトもあります。実は仮面ライダーを見過ぎて、父が怒りました。“ノルウェーに住んでいるんだから、ノルウェー語のテレビを見ろ！もう日本語禁止^{きんし}だ！”と言われました。こっそり見続けましたけどね。それくらい、私の心を掴んで、離しませんでした。

本題^{ほんだい}に戻ります。ほぼ毎日学校から帰って、アニメやライダーを見ていたので、ある日気づきました。いつの間にか字幕^{じまく}が必要なくなっていました。もちろん全部ではありませんでしたが、だんだん分かるようになっていきました。それで、中学の時に本気で日本語を学びたいと思い、自分でひらがなとカタカナを覚えて、文法も勉強しました。

他の日本語を勉強している方は驚^{おどろ}くかもしれませんが、私はアンキやワニカニという勉強アプリを使ったことはありません。新しい言葉や単語に出会った時には、

自分でネットや辞書で意味を調べて、覚えました。効率的な学び方だとは思いますが、私の場合は十分でした。

会話に関しては、練習する相手がいませんでした。なので、好きなキャラクターのセリフを真似しました。例えば、「ここからは、俺のステージだ!」とか。もちろん、ただ言えるようになるだけではなく、発音を正しくするために一生懸命練習しました。もう一つの方法は音楽です。私は歌うのがとても好きで、特に日本語の曲を歌うのが好きです。歌詞を正しく歌えるように練習しました。日本で話した日本人や大学の先生達から「日本語が上手」と言ってもらえたので、「うわあ、無駄じゃなかった」と思いました。

オスロ大学に入ってから、「どうやって日本語を勉強したんですか」と聞かれることがよくありましたが、正直に言うと、私が使った方法はおすすめできません。私の場合は出来ましたが、長年したからこそ効果があったと思います。20代の初心者の方にとっては、時間の無駄になってしまうかもしれません。

ここまで10年かかりましたが、自分の日本語はまだまだだと分かっています。なりたいレベルまではまだ遠いですが、これからも全力で日本語の勉強を続けます。

ご清聴ありがとうございました。